

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 892
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	4051	2	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課	
			担当課長名 徳永 二郎	

1 事務事業の概要

施策名	青少年の育成
第3期実施計画の事業名	青少年国際交流事業
財務会計上の事業名	青少年国際交流事業
事業の対象(誰(何)を)	池田市民である中学生から25歳までの学生
事業の手段(どうする(させる)ことで)	夏休みに姉妹都市(ローンセストン市)及びに友好都市(蘇州市)に派遣
事業の目的(どのような結果を得るか)	青少年の国際感覚の育成、姉妹・友好都市との交流継続及び活発化
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和60年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	839		434		632		759	
内訳	人件費(人・千円)	0.31人	2,604	0.30人	1,880	0.30人	1,830	0.30人	1,840	97.3%
	正職員	0.31人	2,604	0.20人	1,640	0.20人	1,600	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0	0.10人	240	0.10人	230	0.10人	240	95.8%
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	3,443		2,314		2,462		2,599		106.4%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	3,443		2,314		2,462		2,599		106.4%

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	派遣・交流の充実	人	8	6	7		7
	成果指標 (2)							
	活動指標 (1)	派遣・交流プログラムの充実						
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	姉妹・友好都市との交流継続及び今後の国際化や民間交流を担う青少年育成のため必要不可欠な事業である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	派遣生らは、友好・姉妹都市からの受入の際にホストファミリーとなるなど相互交流に発展している。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
個人での語学研修などによる海外渡航機会の増加。	

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 872
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	4052	1	担当部課名 市民生活部観光・ふれあい課	
			担当課長名 徳永 二郎	

1 事務事業の概要

施策名	国際文化交流、地域間交流の推進
第3期実施計画の事業名	地域間交流促進事業
財務会計上の事業名	地域間交流促進事業
事業の対象(誰(何)を)	旧池田町を含む全国池田町及び鳥取市との交流
事業の手段(どうする(させる)ことで)	池田市地域交流協議会へ補助金を交付し、その範囲で地域交流事業(交流助成など)を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	上記の支出内容などが細かく多様なため、市の予算では対応が困難であるが、池田市地域交流協議会が補助金により交流を担うことで、対応が可能になっている。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市交流団体補助金交付要綱、池田市地域交流協議会規約

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	600	400	100	200	25.0%			
内訳	人件費(人・千円)	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.20人	1,600	0.20人	1,600	97.6%
	正職員	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.20人	1,600	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員	0	0	0	0	-				
	非常勤職員	0	0	0	0	-				
	アルバイト	0	0	0	0	-				
支出合計 A		2,280	2,040	1,700	1,800	83.3%				
財源	国・府支出金					-				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源 C	2,280	2,040	1,700	1,800	83.3%				

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標	(1)	交流促進					
		(2)						
	活動指標	(1)	交流事業	件	6	6	6	6
		(2)						

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	380,000	340,000	283,333		83.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	全国池田サミット終了や、青谷町の鳥取市合併にも関わらず、これまでに培われた民間交流は継続しており、これらの支援策は今後も必要である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
補助金の精査。	交流助成金が民間交流の一助となっている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
市町村合併などによるつながりの薄れ。	民間交流の担い手の高齢化や、つながりの薄れにより、交流の先細りが心配される。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	885
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	4051	1	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課
			担当課長名	徳永 二郎

1 事務事業の概要

施策名	国際文化交流、地域間交流の推進
第3期実施計画の事業名	国際交流推進事業
財務会計上の事業名	国際交流推進事業
事業の対象(誰(何)を)	池田市の国際交流事業
事業の手段(どうする(させる)ことで)	池田市都市提携委員会へ補助金を交付し、その範囲で国際交流事業を行う。
事業の目的[どのような結果を得るか]	姉妹都市交流・国際交流は特に突発的な事例が多く、また支出内容が細かく多様なため、市の予算では対応が困難であるが、池田市都市提携委員会が補助金により交流を担うことで、対応が可能になっている。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市交流団体補助金交付要綱、池田市都市提携委員会規約

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		4,000		3,300		2,500		3,000	
内訳	人件費(人・千円)	1.45人	6,465	1.30人	4,810	1.30人	4,660	1.30人	4,760	96.9%
	正職員	0.50人	4,200	0.30人	2,460	0.30人	2,400	0.30人	2,400	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.90人	2,160	0.90人	2,160	0.90人	2,070	0.90人	2,160	95.8%
	アルバイト	0.05人	105	0.10人	190	0.10人	190	0.10人	200	100.0%
	支出合計 A	10,465		8,110		7,160		7,760		88.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	10,465		8,110		7,160		7,760		88.3%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	交流促進					
成果指標 (2)		国際交流団体ネットワークの構築						
活動指標 (1)		交流事業		17	22	42		25
活動指標 (2)		国際交流団体連絡会の開催		1	1	1		1

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	615,588	368,636	170,476		46.2%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	交流件数が増加していることに加え、姉妹・友好都市交流の継続や突発的な国際交流事業への対応のため、必要不可欠である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
交流件数の増加。 補助金の精査。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
対外的な国際交流のみならず、地域における外国人との交流など、多文化共生分野への重点のシフトが見られる。	姉妹・友好都市との交流内容の充実。外国人市民への施策。